

「医療と介護の連携による自立支援」研修会・発表会の発表事例の募集

医療と介護の連携により高齢者の自立につながった取組事例を、医療・介護関係者をはじめ、行政、県民の方に知っていただくため、「医療と介護の連携による自立支援」研修会・発表会を開催します。

皆さまが日ごろから取り組んでおられることを発表していただき、県内で医療と介護の連携による自立支援に向けた取組みが普及することを目指します。是非御応募いただきますようお願いいたします。また、当日の発表者の中から特に自立に資する事例を選考し、表彰する予定です。

1 発表対象者

介護療養型医療施設、介護老人保健施設、広域リハビリテーションセンター、サービス付き高齢者向け住宅、短期入所生活介護事業所、短期入所療養介護事業所、地域密着型サービス事業所、通所介護事業所、通所リハビリテーション事業所、特定施設入居者生活介護事業所、特別養護老人ホーム、訪問介護事業所、訪問看護事業所、訪問リハビリテーション事業所及び有料老人ホームの職員、または介護事業所や個人のグループ等

2 事例発表

- (1) 発表時間は、1人15分とします。
- (2) 発表者は、所定様式「事例内容報告用紙」及び発表当日のデータ（パワーポイントで原則24枚以内にまとめること。）を作成し、1月5日（木）までに県医師会事務局あてにCD、メール等で御提出をお願いします。（発表当日データ（パワーポイント等）は提出後の修正が可能です。最終稿を1月31日（火）までに御提出ください。）
- (3) 発表者が多数の場合は、審査委員または熊本県医師会と熊本県認知症対策・地域ケア推進課で選考します。
- (4) 本募集については、熊本県在宅サポートセンター/熊本県医師会及び熊本県のホームページにも掲載しています。

熊本県医師会 HP (http://www.kumamoto.med.or.jp/cts04_kouenkai/kouenkai.html)

熊本県在宅サポートセンター HP (<http://www.kumamoto.med.or.jp/zaitaku/kensyu.html>)

- (5) 既に発表済みの事例の応募も可能です。
- (6) 対象となる発表事例

【例示】

- ・介護保険施設・事業所と医療職の連携により、介護施設や自宅で、本人が希望する看取りを支援することができた。
- ・入退院を繰り返していた方に医療と介護の連携により適切なサービス提供をした結果、入退院を繰り返さなくなった。
- ・医療及び介護サービスを一体的に提供したことにより、要介護度が軽度化した。
- ・退院時に医療・介護関係者の連携により在宅生活の環境を整え、在宅での生活が困難と思われていた方が自宅に帰ることができた。 等

〔発表者募集から発表までの流れ〕

発表事例募集期限

概要・発表データ

令和5年1月5日(火)



1月16日(月) 6事例を選定、発表者へ決定通知送付



1月31日(火) 発表資料の最終締め切り(訂正等)



2月7日(火) 発表(6事例)

※資料送付(送信)先

〒860-0806 熊本市中央区花畑町1番13号 公社) 熊本県医師会 業務I課

TEL 096-354-3838 FAX 096-322-6429

E-mail kurogi-office@kumamoto.med.or.jp